

(別記様式第3号)

第1回石巻地域普及活動検討会実施報告書

石巻農業改良普及センター

実施月日：令和5年8月30日

実施場所：東松島市A社いちごほ場

J A いしのまき農業情報センター

1 検討内容

No	検討項目
1	プロNo.1 産地を形成する多様な担い手ステップアップによるいちごの産出額向上
2	令和5年度普及計画の全体説明（報告）
3	プロNo.2 地域のモデルとなる園芸法人の育成強化
4	プロNo.3 小ねぎ産地における次世代の人材育成
5	プロNo.4 長面地域における大規模土地利用型経営体の持続的な水田農業の実現

2 検討委員の構成

(単位：人)

区分	人数	区分	人数
先進的な農業者	2	生活者	
若手・女性農業者	1	学識経験者	
市町村	2	マスコミ	
農業関係団体	2	民間企業	2

3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果（コメント、評価表の要約）	普及センターとしての対応方向
上記1-No. 1 (プロ1)	4.0	<ul style="list-style-type: none">目標に対してしっかり成果、結果が出るように普及活動を行っているので、今後も継続して実施していただきたい。室内検討で提言された収益性については検討の余地があると思われる。A社は栽培を始めたばかりだが、いちご狩りも視野に入れた品種の選択などもあって良いと思います。夜冷に入れないのが残念ですが、今後生産性が上がったなら取り入れるのも良いかと思えます。共販部会、農業法人、新規参入と対象を明確に区分して、それぞれに適したキメ細かい支援活動を行っており、支援効果が十分に発揮されています。農業法人への支援について、全5法人で出荷量・販売金額が前年比向上している点は評価に値しますが、さらに踏み込んで利益額の把握も行っていくべきだと考えます。昨今、資材や燃油等が高騰しており、収益（売上高）が伸びても、損失を計上する可能性も大きいからです。経営課題として、コスト面（材料費や人件費）の圧縮を取り上げ、その課題解決を支援対象に含めることが望まれます。産出額よりも利益率がどうなっているのか分析する必要があると思う。	<ul style="list-style-type: none">生産技術指導の成果として、これまで出荷量や販売額に視点を向けて参りましたが、健全な経営運営の維持継続のためにも、収益性、利益率も重視し、生産管理と経営管理両面を強化する総合的な法人運営支援の活動を展開して参ります。今後、新たな販売展開に合わせた品種の導入など、生産体制の変容も提案し、対象経営体の新たな経営展開につながる支援活動を実施して参ります。県では県育成品種にこにこベリーの生産振興を図っているとこ

		<p>そうでなければ課題となっている人材の確保や技術力アップのための人材育成に全てが紐付いているのではないかと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> • にこここベリーの強化を石巻地域は数年に渡って実施してきたはずだが、品種と収量と産出額において差があるのかどうかも含めて比較検討していくべきと考える。 • 現地調査として、A社のいちごの栽培の概要の説明、苗の生育状況など確認し、しっかりとした管理が行われており、県として、プロジェクト活動としての成果が見受けられた。 	<p>ろですが、各経営体の経営方針による多様な品種導入に対応できるように、それらの生産実績や経営的評価を検証してまいります。またそれらに応じた生産技術、経営指導ができるよう、今後も普及指導員の指導力向上に継続して取り組みます。</p>
上記1-No. 3 (プロ2)	3.2	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクト活動の課題、目標は今後の地域の発展のために必要不可欠と考えるが、各法人が収量や収益をしっかりと安定できるように今後も普及活動をお願いしたい。 • A社の周年栽培計画は単一の出荷先なので今後も多品目での栽培が望ましいかと思えます。B社の栽培品目の収益性がどこまで上がるのか心配です。このままその品目だけでいけるのか、体が心配です。 • 「地域のモデル」となる園芸法人の育成強化というテーマですが、やや技術面に偏重しているように感じました。例えばB社においては、施設導入時の中期経営計画では2年目から4百万円弱の経常利益を挙げることとなっていますが、現状では損失を脱却する見通しが立っていません。そうした中で、令和4年度から毎年2.6百万円の借入金返済を行っていくことは到底困難であり、更なる借入金に頼らざるを得ない状況にあります。 • モデル法人とするためには、経営収支面の改善が不可欠となりますので、こうした側面からのアプローチ強化を望みます。 • 毎月のキャッシュフローの金額があったが、収益率をどうしていくべきかもっと分析する必要がある。 • 生産者が疲弊しないよう、関係期間が一丸となってサポート体制をとっていくべきである。 • B社について、委員からも意見があったが、無理のない債務償還計画の見直しなどを行い、採算性を見合う経営指導も併せて指導していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 販売先に合わせた新たな品目導入の提案やそれに伴う技術指導を今後も継続して参ります。 • 園芸法人の育成強化という観点から、技術指導はもとより、経営管理指導においては、もっと踏み込んだ現状把握や分析を行い、専門家と連携した改善提案を実施して参ります。
上記1-No. 4 (プロ3)	3.8	<ul style="list-style-type: none"> • 農業において後継者問題、人材確保困難が課題となっている現在、この先を見据えた普及活動はとて評価できる活動と思う。 • 伝統ある小ねぎ産地だけに、世代交代がとても重要だと思います。今後がとても楽しみです。 • 青年部すなわち次世代の人材育成という観点で支援を行っていることは、非常に意義のある取り組みだと評価できます。 • 水産の日の販売会への参加等異業種との交流の仕掛けも、人材の育成という側面で効果的です。 • J Aいしのまきの部会ですので、J Aとの連携を前提に、J Aとは異なった視点でアプローチを行っていく必要があるものと考えます。J Aが行っていない・できない支援活動を中心に展開することが求められます。 • 収益性、利益の確保についてももう少し具体的な分析を出して欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> • 今後も、ベテラン経営者から若い経営者への生産技術の伝承を促しつつ、異業種交流など、新たな視点を取り入れた多様な働き掛けを実施し、次世代を担う青年部員の育成及び部会の維持発展につなげて参ります。

		<ul style="list-style-type: none"> ・施設園芸はコストが掛かっていることから、出荷量の担保をどうするか、また後継者不足にならないよう次世代の育成も同時に行っていくことも必要であると考えます。その仕組みを構築することで地域農業の産地を守っていくことにつながる。 ・小ねぎの産地として、今後も持続的に安定した収量の確保を図るため、若い経営者とベテラン経営者とのつなぎ役も担いながら、技術的指導をお願いしたい。 	
上記1-No. 5 (プロ4)	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・地力の低い土地での大規模な土地利用型経営の普及活動ということで、様々な課題が考えられるが、一つ一つ課題解決を図ってぜひ大きな成果を上げていただきたい。 ・地力が低いため飼料用米を多く生産しているようですが、やはり価格が安いので今後なるべく早く主食用米を多く作れるよう努力していただきたいと思います。 ・地力の低い水田で大規模耕作を行っており、飼料用米を中心に交付金に頼った経営内容となっていることが推察されます。 ・100haレベルであればそれなりの労働力が必要となるはずですが、法人の組織面に対する言及がないように感じます。すなわち、正職員が何名いて、定着率はどうか、新規採用の有無、指揮命令系統の機能等、組織がうまく機能しているかどうかを把握し、より効果的な支援につなげて頂きたいと思います。 ・震災当時に無償で取得した農業機械について、今後順次更新時期を迎えますが、再投資する資金力があるかどうかも重要なポイントとなります。 ・大規模土地利用型農業のあり方を再考していくきっかけになるプロジェクトであるという視点から、検証する定性的目標、定量的目標において項目がもっとあっても良いのではないかと思います。このデータが今後活かせるようにしてほしい ・この事業において担い手が持続可能な取り組みとして機能できるのかどうかを聞きたい。 ・これまでのプロジェクトでも、実証された土壌改良の重要性を活かし、安定した収量による経営向上が図れるよう、引き続きの指導をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もこれまで積み上げてきた土壌改良を中心とした技術支援を継続していく一方で、対象経営体が今後も地域の農業を維持、継続していく重要な担い手として、人材育成や資産管理、経営計画など中・長期的な組織運営体制の検討をしていくよう促して参ります。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の御指導のおかげで、年々収益はどの作物も上がってきているようです。石巻ならではの作物をこれからも増やしていただきたいと思います。 	